

きらめき通信

35

相和小学校放課後教室
発行日 2019.5.13
発行責任者 野地 泰次

むかしはどこにも匂いがあつた

サトウ ハチロー

むかしはむかしは なんともしええない
すてきな匂いが どこにもあつた

学校がえりの 裏道は
空気の匂いが あふれてた
お寺のがけには 青ごけの
涼しい匂いが ならんでた

遊びによくくる 友達は
あんずの匂いが いつもした
おしゃべりしだすと たまらなく
鼻へと匂いが とびこんだ

ちいさいかわいい 小川には
メダカの匂いが 流れてた
手あみでしゃくうと 手首まで
うれしい匂いが しみこんだ

さよならあばよの ひぐれには
羽虫が匂いを 夜にした
まばたきしている 灯りには
ごはんの匂いが ふくれてた

むかしはむかしは なんともしええない
すてきな匂いが どこにもあつた

詩集「ありがとう」 日本図書センター

図書室にあった詩集の中に見つけた詩です。

確かに「匂い」が無くなってきているのではないかと感じる時があります。くだもの、地域・・・季節感が薄れているのかもしれませんが。また、自然も少しずつ減っているのでしょうか。どこか、のどかなゆったり感を求めてしまうように思います。

相和小にも、サトウハチローさんの詩が掲示されています。「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を暖める」という詩です。人のやさらかな育ちを思う心癒されることばだと思えます。

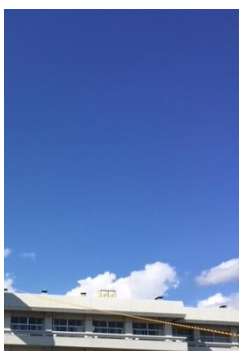


こういうことが楽しいのしょうね!

ある日の放課後教室。砂場に穴を掘り、その砂の上に積み上げ山にして、掘ったところには、何度もじょうろで水を流し水路を作り、そして様々な空想を働かせていく。こういう遊びが、子どもたちには何よりも楽しいのだらうと思います。手伝うことも、口を出すこともせず黙って見ていると、子どもたちは様々なことをつづやいています。

「ここに〇〇が住んでいて・・・」「大きな山から〇〇が現れてきて・・・」などなど、どんどんイメージを膨らませていく様子がうかがえます。

こういう姿は、いつ見てもすてきなことだなあと



子どものつづやき

とっても天気良かったある日、草の上に横になり空を見上げた子どもが一言。

「先生、ここで寝たら、上(空)が、メチャきれい」

ほんとにそのとおりだなあと感じていました。でも、そこに横たわってしまうところが、相和の子どものらしきなのでしょう。

女子会!?



いつも楽しそうな子どもたち。

いいでしょ!!!

片付け・かたづけ



左の写真は、1年生が、自分たちで使った積み木を片付けているところです。同じ色を集めて2列に並べ、順番に箱の中に入れていきます。

こうして見ていると、片付けも楽しんでいるように思います。片付けや掃除は、本来楽しいものはずですが、でも、「罰」として与えられたり強制されたりすることで、そのことが嫌なものに刷り込まれてしまいます。

ていねいに最後まで片付けていました。大変良くできました。◎